

平成16年 9月～平成24年10月までに当センターにおいて

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは下記の研究機関と共同で「糖尿病合併症新規マーカーの探索」を実施しています。

糖尿病の合併症の中でも糖尿病腎症は、腎臓透析にいたる重篤な症状を起こすことから、生命予後を低下させる大きな原因となっています。しかし、その発症や進展の分子メカニズムはいまだに明らかになっていません。そこで、タンパク質とその修飾のひとつであるO結合型N-アセチルグルコサミン修飾 (O-GlcNAc修飾)に着目し、網羅的な解析 (プロテオーム解析やO-GlcNAc化プロテオーム解析)を行って、糖尿病腎症の病態メカニズムや予測・診断・治療のマーカーとなるタンパク質について研究します。

具体的には平成16年9月～平成24年10月までに東京都健康長寿医療センター (旧東京都老人医療センターを含む) で病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「糖尿病合併症新規マーカーの探索」 「承認番号：R19-18」

研究期間：承認後から2024年3月31日

研究責任者 (所属・職名・氏名)

東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム・研究副部長 三浦 ゆり

研究分担者 (所属・職名・氏名)

東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム・研究員 津元 裕樹

東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム・研究員 梅澤 啓太郎

東京都健康長寿医療センター・糖尿病・代謝・内分泌内科・専門部長 千葉 優子

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長 新井 富生

東京都健康長寿医療センター研究所・シニアフェロー 遠藤 玉夫

杏林大学医学部・解剖学・教授 秋元 義弘

(2) 研究の意義・目的について

タンパク質のO-GlcNAc修飾は、様々なタンパク質の機能に関わる修飾であり、糖尿病で

はこの修飾が付いたタンパク質が増えることが知られています。糖尿病腎症におけるO-GlcNAc修飾の関わりや指標となるタンパク質が明らかになれば、糖尿病腎症の予測や治療に役立つと考えられます。なお、解析結果についてはまだ研究段階であり、個別に結果はお知らせいたしません。予めご了承ください。

(3) 研究の方法について

腎組織からタンパク質を抽出して、プロテオーム解析を行い、糖尿病腎症に伴って変動するタンパク質を調べます。次に、O-GlcNAc化プロテオーム解析を行い、O-GlcNAc修飾が変化するタンパク質を調べます。さらに免疫組織学的手法などを用いて解析し、病態メカニズムやマーカーとなるタンパク質を調べます。

(4) 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料：病理解剖で得られた腎組織

研究に用いる情報：年齢・性別・糖尿病に関連した血液及び尿のデータ

(5) 外部への試料の提供

免疫組織学的解析を行うため、試料を以下の研究担当者に送付します。

杏林大学医学部・解剖学・教授 秋元 義弘

(6) 試料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。共同研究者内でデータを共有しますが、その場合も個人の特定はできないように取り扱います。また、他の研究へ二次利用する場合は別途倫理審査を申請します。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管責任者は主任研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センター研究所の所定の棚において施錠可能な状態で保管します。

(5) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所 老化機構研究チーム・プロテオーム 三浦 ゆり

〒173-0015 東京都板橋区栄町3-2

電話03-3964-3241 内線4409 (平日9:00~17:00)